

「自分自身にできることをすべてやったら、文字通り自分自身を驚かすことができるだろう」

～If we did all the things we are capable of doing, we would literally astound ourselves.～

発明家/事業家 トーマス・エジソン

令和7年度が始まり二カ月が経過しました。みらい工房では来年度に予定している本部等の若葉区多部田町への移転に向け具体的な準備が始まっています。

私がみらい工房に入職したのは令和三年十月です。そこから約三年半が過ぎていますが、その間、地域生活支援センターみらい工房市原（相談支援事業\*令和四年に千葉市の相談事業と統合）、緑区障害者基幹相談支援センター（千葉市委託事業）、みらい工房つむぎ（生活介護）、おおきなWa（生活介護）、地域生活支援センターおおきなWa（相談支援事業）、サードスペースみらい（居場所支援等）、はーとやのパン直営店（amp（カフェ&コミュニティスペース）と次々に事業展開を行って参りました。

この事業展開には、「地域と共にみんなの未来を創造する」という法人基本理念の下、みらい工房を利用される方やご家族、地域の皆様のご期待に応えようと取り組んできた結果といえます。

また、それに加え、理事長から「現状維持は衰退。ちよつとずつでも右肩上がりの運営になるように」と日ごろから鼓舞されていることもあり、職員も若手から役職者まで、様々な要望に応えようと次の展開に常々思いを馳せながら業務にあたっているというとても大きな要因になっていると感じます（もちろん日々の活動に向き合うことも大切にしていきますのでご安心くださいね）。

私自身、みらい工房の事業展開の速さは、付いていくのに必死な状態ですが、きっと、関係者の皆様のご理解やご協力があり、そして、みらい工房の職員一人一人がチームワークを発揮し、自分たちのできることを地道にやってきた結果として、この驚くべき展開に繋がっているのだと思います。

とはいえまだまだ道半ばです。令和八年四月の多部田移転を筆頭に、つむぎ隣地の活用、おおきなWaの事業拡張など、今後ともみらい工房は前進を続けてまいります。もちろん、そのためには利用者さんやご家族、地域の皆様、更に新しい職員の力も必要になってきます。至らぬ点もあると思いますが、これまでと変わらぬ多くのご支援をお願いいたします。

みらい工房つむぎ 次長 丸晶



▲ 丸次長が施設長を務めるみらい工房つむぎでは、日々の活動で様々な催しを企画しています。手作り拉麺を昼食時に提供した際は、利用者様が店主となり皆で美味しい食事と時間を愉しみました。“皆様の笑顔が職員の糧となり、より良い支援に活かされている”と語るのは主任の金坂さんです。

## Newsletter.

【共同生活援助/空床型短期入所】

### 令和7年8月グループホームみなとがWaを開設いたします

男性棟・女性棟2ユニット 家庭的な環境でひとり暮らしをサポート

- 週末はビーチ散歩や広々バルコニーでBBQ
- 閑静な住宅街、近隣に商業施設あり
- 完全個室・エアコン・ベッド完備



◀ 現在、開設に向けて改修工事真っ只中、GHみなとがWa居室の一例です。生活介護事業所おおきなWaをご利用の皆様が“ほっと”くつろげる“第二のいえ”となるような雰囲気作りを目指しているとのこと。みらい工房本体と同じく重度障害がある方の地域の受け皿としてお役に立ちたいと、施設長の呉屋係長より伺いました。カーテンや照明・家具が入りインテリアの完成が今から楽しみです。



毎月第三土曜日に親子イベントを開催

## サードスペースみらい

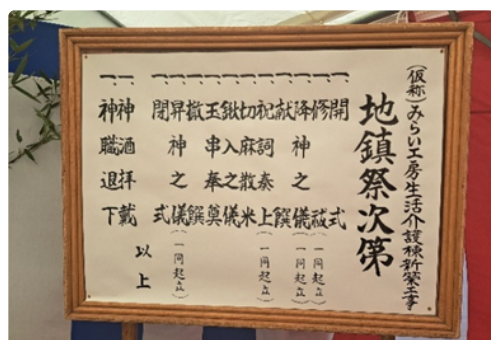
サードスペースみらいでは、毎月第三土曜日に親子で参加できるイベント「みんなで遊ぼう親子の会」を開催しています。毎回、淑徳大学のボランティアサークルに協力をいただき、絵本の読み聞かせやレクリエーション・工作等を行っています。参加人数も増え、リピーターの方も多くなってきました。これからも様々な体験を通し、子供たちの成長を見守るとともに、親同士の繋がりも大切に進めていきたいと考えています。

サードスペースみらいスタッフ 山口・青柳



(仮称) みらい工房生活介護棟工事の地鎮祭の様子

## 多部田町地鎮祭



2025（令和7）年4月15日、千葉市若葉区多部田町工事予定地において、（仮称）みらい工房生活介護棟新築工事の安全を祈願する「地鎮祭」が執り行われました。当日は、本法人の理事長をはじめとした法人内関係者、工事関係者が参列いたしました。

社会福祉法人みらい工房は2026（令和8）年を迎えるにあたり、生実町のみらい工房とみらい工房ひまわりを移転し、千葉市若葉区多部田町を法人本部として運営を行います。工事期間中は近隣の住民の皆様をはじめ、周辺の皆様にはご迷惑をおかけすることになりますが、工事関係者ともども安全対策には十分配慮いたしますので、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

みらい工房 課長 阿部満

各部署の  
活動報告

それぞれの  
場所で  
創る  
みらい

本号では、各部署の取り組みと  
その成果を報告いたします。





毎年恒例のスポーツ大会が本年も

## 第33回千葉市ゆうあいピック



令和7年5月14日、さわやかな初夏の陽気の中、第33回千葉市ゆうあいピックが青葉の森スポーツプラザにて開催されました。本大会では、フライングディスクや陸上競技に、多くの利用者様が元気に参加されました。広々とした競技場には、皆さんの真剣なまなざしや、仲間と声を掛け合う姿、競技を終えた後の晴れやかな笑顔があふれ、応援の拍手が温かく響いていました。このゆうあいピックは、日頃の練習の成果を発揮する場であると同時に、社会参加の喜びや、他施設との交流を深める貴重な機会となりました。ご家族の皆様にとっても、挑戦する姿や一步一步の成長をご覧いただける、特別な一日になったことと思います。今回ご参加いただいた皆さん本当にお疲れ様でした。

スポーツ委員会 委員長 芳賀康也



今年で3回目の開催

## ふるいちばフェス

5月11日（日）千葉市緑区古市場運動公園において、地域の活性化、地域コミュニティを深めることを目的とした「ふるいちばフェス」が開催され、みらい工房から“はーとやのパン&おおぞら”が出店しました。また、運営スタッフとして、理事長他5名の職員が参加いたしました。今年で3回目の開催となり、地元中学校による吹奏楽や和太鼓の演奏が場を盛り上げ、ワークショップやキッチンカーも大盛況でした。当日は好天に恵まれ、地域住民の方々をはじめ遠方からも多くの方にご来場いただきました。



みらい通信33号

## 編集後記

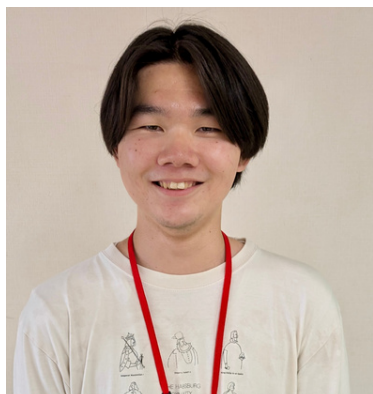
今号の巻頭を飾る丸次長の言葉は、トーマス・エジソンの名言から始まりました。「自分にできることをすべてやる」その姿勢こそが偉業であり、誰にでもその力があるのだと思わせてくれる、前向きな一言でした。失敗を恐れずに挑戦し続ける。そして、日々の小さな積み重ねが、気付けば自分を遠くまで運んでくれるのでしょう。さて、編集担当者を漢字一文字で表すと“豪”これは時に、豪腕と言われる為ですが、やや複雑な乙女心…(笑)あなたの心に浮かぶ“漢字一文字”は何でしたか？今号も最後までお読みいただきありがとうございます。

広報委員会



社会福祉法人みらい工房では各部署が積極的に、楽しみながら様々な挑戦をしています。今も変わらぬ創立時からの想い「法人理念を胸にこれからも我々は堅実に、楽しむ事を忘れず、邁進してまいります。」

主任相談支援専門員 酒井裕作



みらい工房  
しらいししょうこ

白井将吾 を漢字で表すと

温

みらい工房に配属になりました。白井将吾です。まだまだ分からないことばかりですが、焦らずゆっくりと一歩ずつ成長できるように、お力をお借りしながら頑張りますのでよろしくお願いいたします。



みらい工房つむぎ

かわしまゆい

川島由郁 を漢字で表すと

笑

以前は、茂原にありますNPO法人みらい工房ぱれつとにて勤務しておりました。私自身「毎日楽しく」を常に心がけていて、利用者の皆様にも「今日は1日楽しかったなあ」と思っていただけのように頑張りたいと思います。



みらい工房おおぞら

ひろなかあき

廣中晶 を漢字で表すと

穏

人と直接関わり、誰かの役に立つ仕事がしたいと思い、福祉の仕事を選びました。今は福祉の知識はないですが、働きながら学んでいきたいです。利用者様と関係性を築けるよう、思いやりの心を持って関わっていきます。

2025年度

共にみらいをつくる新メンバー

## 新入職員 6 名 をご紹介します

様々な想いを胸に入社してきた新入職員の皆さんに  
漢字一文字をテーマに自己紹介をしていただきました



みらい工房ひまわり

さとうきよか

佐藤清佳 を漢字で表すと

進

大学時代に放課後等デイサービスでアルバイトを経験し、児童と関わる楽しさや障害児支援の大切さを学び本職に決めました。利用者様がより良い時間を過ごすことができるよう、日々前を向きスキルアップしていきたいと思えます。



おおきなWa

もろみざとけいこ

諸見里景子 を漢字で表すと

朗

皆様が笑顔で朗らかに、安心して過ごせるような空間・環境づくりを行っていききたいです。常に“明るく・元気・前向き”をモットーに、人に優しく、また笑顔と感謝の心を忘れずに精進してまいります。



緑区基幹相談支援センター

まつなちえ

松中千恵 を漢字で表すと

和

障害児支援の仕事に携わってきた経験を活かし、ご縁をいただいて現在は障害者基幹相談支援センターで勤務しています。利用者の方々に寄り添った丁寧な支援を心がけてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。